

「情報処理学会論文誌：数理モデル化と応用」の 編集にあたって

北 栄輔^{1,2,a)}

本年度3回目、最後の論文誌トランザクション「数理モデル化と応用 (TOM)」の発刊です。

TOMでは、MPS研究会においてご講演いただき、研究会と同時開催の編集委員会で査読結果をお伝えするという方法をとっています。今年度も5回のMPS研究会開催を開催しています。2017年6月下旬開催のMPS113 (沖縄科学技術大学院大学)、2017年7月下旬開催のMPS114 (ラスベガス、国際会議PDPTAとの共催)、2017年9月下旬開催のMPS115 (北海道大学)、2017年12月中旬開催のMPS116 (奈良女子大学)、2018年3月開催のMPS117 (指宿温泉)です。本トランザクションの発刊時点では、すでに、すべての研究会が終了していると思います。

来年度も、同様に5回の研究会を予定しています。2018年6月13~15日に開催予定のMPS118 (沖縄科学技術大学院大学)、2018年7月30日に開催予定のMPS119 (ラスベガス)、2018年9月頃開催予定のMPS120、2018年12月頃開催予定のMPS121、2019年3月開催予定のMPS122です。詳細はHPに掲載していますので、ぜひ、多数のご参加をお待ちしています。

今号では、2017年9月開催のMPS115 (北海道大学)に投稿されて採録されたオリジナル論文5編と非連動投稿されて採録となった論文1編を収録しています。担当編集委員は尹 熙元、高野 茂、滝沢泰久、松田 健、池田大輔、山内由紀子となっています。

TOMに掲載される論文はコンピュータサイエンスの境界領域を含む非常に広範囲なものになっています。そのため広い分野に対応できるように多くの編集委員を必要としています。これまでも慢性的に編集委員が不足している状態です。TOMでは編集委員を常時募集していますので、自薦・他薦を問わず興味のある方はぜひご一報ください。

本論文誌の配布はオンライン版のみとなっています。なお、論文誌の定期購読制度もありますので、ぜひ、こちらも

ご利用ください。また、研究会開催記録、研究会登録案内、投稿案内などに関する最新の情報はすべてWWWページ上に掲載しております。すべての情報は研究会ウェブページ (<http://www.ipsj.or.jp/sigmps>) よりたどることができますので、MPS研究会および論文誌TOMに関しては、そちらをご参照くださいますよう、お願い申し上げます。

¹ 情報処理学会論文誌トランザクション「数理モデル化と応用」編集委員長
名古屋大学
Nagoya University, Nagoya, Aichi 464-8601, Japan

² 神戸大学
Kobe University, Kobe, Hyogo 657-0013, Japan

a) kita@i.nagoya-u.ac.jp